



安全衛生

あれこれ

7

増田労働衛生コンサルタント事務所

所長 増田稔久

本年もよろしくお願ひ
します。

その昔、自家用車で踏切を渡っている際にエンジン消したことがありません。幸い惰性で踏切内から出ましたが、列車と衝突するのではないかとヒヤリとしました。それ以来、踏切の通行には特別な緊張感があります。

昨年踏切事故がいくつか報道されました。踏切事故は、ひとたび発生すれば大惨事になりかねません。多額の損害賠償を請求される可能性もあります。今、立体交差化が進められています。依然として多くの踏切があるのが現状です。ドライバーの私達には、うっ

かりミスが減らすための努力が求められています。

私は、日常の行為で、ミスをした場合に大変なことになるとや、間違えやすいことには「指差し呼称」を行っています。

列車の運転手や車掌さんが行っている安全確認行動の「指差し呼称」です。踏切を渡る場合は、先ず車の窓を開け警報音を聞きやすくします。ラジオなどの音量も下げ

職場、家庭で「指差し呼称」を行いますか？

ます。次に、左右を見て、その方向に指を差し

「右、列車なし
ヨシ！」

「左、列車なし
ヨシ！」

と声を出して確認しま

す。その後、前の車や横断先のスペースを

「前方、スペース
ヨシ！」

と確認し、ゆっくり加速し通り抜けています。妻が同乗しているときは、雑談を中断し同様の確認行動に付き合っ

て貰っています。中災防（中央労働災害防止協会）の資料によると、指差し呼称でミスは1/6に減らすことが出来ると言われています。

踏切を渡る際には、安全確認行動「指差し呼称」を私たちも実践することが、この種の事故防止には欠かせないと思います。列車と自動車の運転手がそれぞれに指差し呼称をするのは、真剣な行為といえ、少々愉快でもあります。継続するには愉快に思うことも大切で

よう。

「指差し呼称」は、正しい判断力を高める合理的な「安全確認行動」です。決して万能ではないでしょうが、これが出来るか否かによって、生死に係る危機対応さえ変わるかもしれません。そうならば、安全確認行動は生きる力と言えるのではないのでしょうか。

誰も傷付けず自身と職場の仲間、家族を守る武器、防具とも言えます。ぜひ職場や家庭で実践して欲しいと願っています。

「火元コンロ、オフ
ヨシ！」

「戸締り、ロック
ヨシ！」

などと先ず、指差し呼称の対象を検討することから始めてみませんか？

指差し呼称：踏切編



- ➡ 右、列車なし ヨシ！
- ➡ 左、列車なし ヨシ！
- ➡ 前方、スペース ヨシ！

